

基本計画 （政策４）

基本計画（政策４）

① 施策 4-1 の取組の方向性について

事前質問	【回答票（政策４）番号１】 『地域のつながりそのものをどう作っていくのか』という視点を欠いているのではないか。
当日質問・意見	
回答	防災、趣味、子育て等、市民が関心を持ちやすいテーマをきっかけに、住民同士がつながれる機会や環境の整備を重視したい。
審議	あり
委員	行政の直接関与により生じる負担を懸念されているということは理解するが、現状でつながれていないことを皆課題として感じている。世話を焼けということではないが、仕組みづくり等により環境整備が図れないか。
市	市ではボランティアや NPO の情報をホームページに掲載しており、各団体の活動の可視化に取り組むほか、地域の活動についても下支えを行っている。行政として、どのような介入が効果的と考えるのか、意見を伺いたい。
委員	ボランティアをしたいと思っても、自分がしたいと考える活動を行っている団体は自分で探すしかない。このようなケースでマッチングしてくれる中間支援団体がないか、ということであったり、子どもがいない中高年世代が地域に入っていくにくい状況の解消を図ったりできないか、といった点で仕掛けが考えられないか、という意見である。
市	中間支援に関する仕組みについて研究するために、久留米で活動する「みんなくる」という団体の方を講師に呼び、研修会を実施した。その研修の際に講師の方からは、筑後市ほどの規模の自治体では同様の活動は困難性が高いとの所感を示された。 また、中高年世代の状況については、地域の側がつながりを作るための仕掛けをしているが、それが相手に響いていかない状況がある。この課題は全国的なものであると認識している。市としては、地域の側でこのような仕掛けを行っている人たちを支援する方針としている。具体的には、市から地域に依頼している仕事を減らすことで地域で活動する人の負担を軽減し、地域の担い手不足の解消や活動余力の向上を図りたいと考えている。 テーマ別のコミュニティは比較的つながりやすいということもある。高齢者支援課が行う地域介護予防講座を受講した人がスマイルという別団体を立ち上げ、それを市が側面支援した例がある。また、こども食堂や地域食堂は地域が必要を感じて自発的に立ち上げ、運営を行っている。 活動する団体に補助金を給付するといった施策も考えられるが、地域の自発性を削ぐ懸念もあり、適切な距離感も必要となる。 いずれにせよ中心となるのは地域であり、地域が中心となり力を発揮できるよう、当面、行政は地域の負担軽減に努めるという方針のもと政策を組み立てている。
委員	行政区長として見ていると、各行政区、様々な取り組みをしている様子が見える。趣向を凝らした取り組みが行われているが、各地域の地域性などもあり、市全体の規模感で意見交換をしてもあまり効果が得られないと考えている。各校区コミュニティの中で、行政区長同士が各々の行政区の取り組みについて活発に

基本計画（政策４）

	意見交換できれば取り組みの改善が図られていくのではないかと。また、既存の視点を変える取り組みも効果的と考える。自身の行政区では、ある行事をあえて女性のみで企画・運営してもらうといったことにも挑戦した。
市	地域が想いや課題認識を持ち、様々な取り組みを行っていることは非常に伝わってくる。そういった想いや課題認識の中で地域を盛り立てていただくとともに、行政として減らせる負担を減らしていきたいと考えている。
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

② 施策 4-1 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策４）番号２】 『地域活動に参加している≠地域の中でつながりを感じている』とは言えないのではないかと。地域の関係性そのものを測る成果指標が必要ではないかと。
当日質問・意見	
回答	「地域活動への参加」と「地域の中でつながりを感じる」ことは一致するものでないと認識している。一方で、参加をきっかけに日常的な声掛けや助け合い等を通じたつながりが生れていくことが重要と考え、現行の指標を設定するもの。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策４）

③ 基本事業 4-1-1 の成果指標「市民活動団体・ボランティア団体の数」について

事前質問	【回答票（政策４）番号３】 指標にとる団体のうち、活動実態がある団体がどの程度であるかが不明であり、市民団体の活性化の度合いや市民協働の質を測る指標として適切か判断しかねる。
当日質問・意見	
回答	同様の認識であり、現行の指標は市民活動の裾野を示す一つの目安として捉えている。数だけを追うことを目的化させず、アンケート等を交え質的側面の補完について検討していく。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

④ 施策 4-1 について

事前質問	【回答票（政策４）番号４】 人口減少・少子高齢化が進む中、各政策の基盤となる『人と人とのつながり』や『地域の支え合う力』を分野横断的な視点として総合計画全体に位置付ける必要があるのではないか。
当日質問・意見	
回答	分野横断的な視点として「縮む社会に賢く対応する」という考え方を基本的な視点として位置づけている。『人と人とのつながり』や『地域の支え合う力』についてはその視点を支える１つの重要な考え方であると認識し、必要に応じて各政策・施策・基本事業等の中で考え方を示していくべきと考える。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑤ 施策 4-2 の成果指標「学習効果を家庭・地域に活かしている市民の割合」について

事前質問	【回答票（政策４）番号５】 学習効果の地域への還元が課題と認識する中で、数値目標の水準が低く、課題解決に向け十分ではないのではないか
当日質問・	

基本計画（政策４）

意見	
回答	コロナ禍以降の社会環境の変化等により、数値の横ばい傾向が続いている。「個人の学び」から「地域活動や家庭への還元」という行動への移行のハードルの高さを踏まえ、横ばいの傾向を上向きに転換させることを目標とし、現実的な目標設定を行っている。
審議	あり
委員	「学び」を「地域活動や家庭での行動」につなげていくことを目的とするようだが、具体的取組として地域活動や家庭での行動に活かせる学びを増やしていくことになるのか。
市	まずは基本となる学びをしっかりと運営していきたい。先日、太極拳の講座の受講者が自主サークルを立ち上げたが、このような学びを契機としたつながりや新しい取り組みが生じ、結果としてそれが地域や担い手づくりにつながればよいという思いがある。そのための手法については計画期間を通じ研究を行っていく。
委員	先の審議で地域の負担軽減の方針に触れられたが、過去に実施された「AIを使ったチラシ作り」の講座のように、地域活動に役立つ講座を地域の人を受講し地域の役員のお手伝いができるような好循環が生まれると理想的である。
市	意見を参考にさせていただきたい。
取り扱い	☒ 答申書に掲載する／ ☐ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☒ 取り組みを求める／ ☐ 特に何も求めない
文言	市が方針として掲げる「地域の負担軽減」に資する学びの機会の創出等を通じ、学習効果の地域還元を図る方策を見出していきたい。
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑥ 施策 4-2 全体の数値目標について

事前質問	【回答票（政策４）番号６】 全ての数値目標が低く、ほぼ横ばいとなっている。目標数値の根拠は。
当日質問・意見	
回答	次期計画期間において、施策の目的を「個人の学び」から「学習効果の地域還元のための人材育成」に抜本的に見直すこととしている。現状維持を容認するわけではないが、確実な事態把握と地域社会への波及効果を高めるアプローチを重視する考えから現状の目標水準としている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策４）

⑦ 基本事業 4-2-1 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策１）番号７】 「学びを通じて得た能力を地域社会の発展や課題解決に還元する人材育成」をめざすのであれば、指標は「学んだ人たちが、次に教える側、支える側、地域活動の担い手になった割合」を見ていくべきではないか。
当日質問・意見	
回答	市が関与しない社会教育活動により担い手として育成された数の集約に技術的な限界があると考えている。学びを地域へ還元できる環境づくりや活動支援に注力したい。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑧ 施策 4-2 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策４）番号８】 スポーツ、文化、生涯学習は人のつながりの契機となることから、つながりを意識した取り組みを行うとともに、それを測定できる指標を設定することが望ましいと考える。
当日質問・意見	
回答	委員意見の重要性は認識する。現在の指標は、活動への参画度合を測定する上での基礎的なものと考えている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑨ 施策 4-3 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策４）番号９】 施策のめざす姿に対し、男女間の平等のみを聞く指標が設定されていることについて。
当日質問・意見	
回答	本施策では男女共同参画の推進を中核に据えており、その状況を継続的・経年

基本計画（政策４）

		的に把握できるものとして現行の指標を設定するもの。
審議		なし
取り扱い		☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言		
市対応		☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局		
主管課		

⑩ 基本事業 4-3-2 の成果指標「審議会・委員会の女性登用率」について

事前質問		【回答票（政策４）番号 10】 審議会・委員会での男女の登用率に偏りがあると思われる中で、必要に応じ、性別ごとの最低登用率を設けるべきではないか。
当日質問・意見		
回答		これまでも、委員推薦依頼時に女性登用等の協力をお願いする取り組みを行ってきた。委員選出にあたっては各団体の自主性に配慮しながら、引き続き偏りのない選任に向けた働きかけを行っていく。
審議		なし
取り扱い		☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言		
市対応		☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局		
主管課		

基本計画（政策４）

⑪ 基本事業 4-3-3 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策４）番号 11】 目標値が現状値より低くなっているが、取組の方向性からすれば目標値は現状値より高くなるべきではないか。現状値が相談数のピークと考えるのであれば、早期発見や適切な支援になっているかを測れる指標が必要だと考える。
当日質問・意見	
回答	数値の多寡のみをもって測る指標設定の難しさから、過去５年平均の数値をベースに目標値を設定した。指標の推移、相談現場の状況、社会情勢の変化等、背景の要因を分析し、目指す姿に近づいているかを総合的に判断する。
審議	あり
委員	過去５年平均をベースとする試算に基づけば、直近の現状値と比較し目標値が低くなるということか。
市	そうである。
委員	この基本事業については数値の多寡よりその中身の分析が重要であると考え
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑫ 施策 4-4 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策４）番号 12】 現行の成果指標では目指す姿の達成状況を測れないのではないかと。例えば「自分と異なる背景や価値観を持つ人が尊重されていると感じる市民の割合」などであればめざす姿との整合が図れるのではないかと。
当日質問・意見	
回答	現行の指標は過去から継続して使用しており、人権侵害の状況を継続的・経年的にモニタリングする上で意義があると考え。人権を傷つけられたと感じる方が減ることは「互いを認め合い、支え合うまち」に近づくための重要な要素であり、その状況を代表的に図る指標として設定している。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策４）

⑬ 基本事業 4-4-1 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策４）番号 13】 目標値をもう少し高く設定すべきではないか。
当日質問・意見	
回答	各年度に開催する講座のテーマや社会的関心の状況等により数値の増減が生じることから、過去３カ年の平均値を上回る水準で設定しており、新規参加者の増加を目指している。
審議	あり
委員	実施内容等により増減があるということは理解するが、令和 16 年度の目標値としてはもう少し頑張る必要があるのではないかとの思いから質問をした。回答書を見たが、過去３カ年の平均値が 213 人とされており、毎年、初めて参加する人を募るということを考えればなかなか厳しい数字という印象を受けた。
市	委員からの叱咤については理解する。次期計画期間中に平均値を 230 人の水準に引き上げ、次期計画ではさらに目標値の引き上げが図れるよう努力していきたい。
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策４）

⑭ 基本事業 4-4-1 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策４）番号 14】 現行の目標値達成によりめざす姿に近づくことになるのか判断ができない。	
当日質問・意見		
回答	人権教育・啓発において、出発点である「事業への参加」に焦点を当て、人権教育・啓発の新規層への広がりを捕捉する指標を設定した。	
審議	あり	
委員	「理解が深まった割合」の指標とあわせて２つの指標を設定するわけにはいかないのか。目指す姿には「正しい知識を身につけている」と記載がある。新規の参加者数と理解の定着度合の両面に着目すべきではないか。	
市	設定する指標を絞り込む中で、理解が深まった割合についても検討したが、もともと意識が高い人が何度も事業に参加する例もあることから、基本事業を代表するモノサシとしては新規参加者数を採用することとした。	
事務局	今回の計画策定にあたり、設定する指標の目標値を達成すればめざす姿が達成したと判断されてしまうという誤解を与えないよう、成果指標の数の絞り込みを行う方針のもと進めてきた。これと合わせ、計画書に記載のない様々なデータや状況等も勘案し、めざす姿にどれくらい近づいたかを総合的に分析していくことを徹底することとしたところである。計画書９ページの記述の説明の不十分さもあったかもしれないので、今後、本計画の説明の際には十分に理解をいただけるよう説明していきたい。	
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない	
文言		
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
事務局		
主管課		

